

私たち市民生活に直結している清掃工場の建て替えのための説明会が開かれた。しかし、参加者は廃棄物の減量などの環境活動をしている人が多く、周知不足の感否めなかった。

実は目黒区はごみ減量のためにごみの分別に力を注ぎ、税金を使い、現在リサイクル率は23区内で2位となっている。資源回収されたペットボトルの中間処理施設見学時には目黒区から回収されたものと、周辺区のとでは明らかに純度が異なっている現状も目にした。区民の努力の成果にほかならない。

しかし、その努力をよそに、今回の清掃工場の建て替えにはこのごみ減量の努力と実績が考慮されていない。次回も現在と同じ大きさの炉が建てられるというのだ。もちろん、大きければそれなりの建設と維持の経費がかかるし、連続運転のためには燃やすごみが必要になる。ごみを周辺の区から集めてくることになる。

1月の廃棄物減量等推進審議会では、清掃工場整備事業について審議された。審議会から、ごみの発生予測のやり直し、周辺区への減量の働きかけ、炉の大きさの見直しに向けた努力をすること等の内容の意見書を提出してはどうかという議題だった。これは本当に画期的なこと、一般区民の感覚と同じだった。しかし、事業者も賛成するなか、残念なことに常々区民の代表だと自負している議員3人と1人の委員が反対した。1人でも反対があれば、審議会からは意見書を出すことはできないので、有志で提出した。

人任せにはできません。是非一緒に考えましょう！
*参考・・・審議会は学識者・事業者代表・住民代表・団体代表・公募区民・区議会議員で構成されている。



室井泰子

この事前説明会で高知
てきたと言われたけど・・・
ご存知ですか？

平成29年に解体工事に着手！
目黒清掃工場 建て替え

～ごみを減らしているのに、
たくさん燃やせる施設を建てるの？～

TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) 交渉参加表明したけれど・・・ 国益よりも企業の利益が優先されるってホント？

国内の生産者や消費者、国会議員の根強い反対がありながら、「首相一任」でTPP交渉参加を表明した。TPPに参加することは、関税撤廃により輸出が増えることで、経済効果が見込めることとアジア太平洋地域に新しい自由貿易圏をつくるために日本とアメリカが参画しリードするためとしている。しかし、すでにアメリカに生産拠点を移している企業も多く関税撤廃が輸出拡大に結び付くとは思えず、逆に海外から安い品物や労働力が入って来ることで国内のデフレが進行し、失業も増えるのではないかと言われている。また、食べ物などの安全性と国内自給率が下がることにも不安が残る。消費者はモノが安くなると思えば喜んでいられない。現に牛肉は規制緩和が進み、飼料や生育環境などがわからないまま、全頭検査もせずに輸入されている。国産牛肉の場合はBSE問題以後、全頭検査を行い安全性を確認してから流通しているが、値段の安い米国産に押されているのが現状だ。米国の圧力を受け入れたための輸入牛肉の規制緩和だが、これではTPP交渉が本当に対等に行えるのか疑問が残る。国会の中の合意も得られないままのTPP参加表明の真意はどこにあるのだろうか。

* TPP参加国: シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、米国、豪州、ペルー、ベトナム、マレーシア、カナダ、メキシコなどの11カ国

工藤春代

インフォメーション お申し込み・お問い合わせは、目黒ネットまでT/F03-3791-8069
meguronet@m2.dion.ne.jp

リヒテルズ直子さんによる基調講演／オランダ教育・社会研究家
～一人ひとりの人間を大切に作る国・オランダの教育から学ぶ～

日時: 4月20日 (土) 15時～18時 (14時半開場)
場所: 大田区立消費者生活センター大集会室 (蒲田駅 徒歩2分)
資料代: 500円
主催: 子育てと教育を考える東京フォーラム
共催: 大田・生活者ネットワーク、目黒・生活者ネットワーク、品川・生活者ネットワーク



「KOKKAI CAFE@目黒」

TPP、一票の格差、格差社会
聞いてみよう！ 国会の中のホントのこと

ランチしながら国会議員の
大河原雅子さん (世田谷在住) とお話ししよう
(国会開催時のため、議員が出席できない時は、政策担当者がきます)

日時: 5月13日 (月) 9時半～11時30分 (9時開場)
場所: 上目黒住区センター
参加費: 500円 (軽食・飲み物付)
主催: 暮らしを考える会 グループ・ちゃんねる
共催: 目黒・生活者ネットワーク

目黒ネットのケーキバザー

1個100円の手作りお菓子を販売します
日時: 5月29日 (水) 11時～13時半
場所: 目黒・生活者ネットワーク事務所前
(学芸大学駅 徒歩3分、エコメッセ学芸大学店と同居です)

まちの問題・課題を
お聞かせください！

毎回、好評！
売り切れご免



【編集後記】キリンビールでは大瓶1本につき130gの瓶の軽量化を行いました。ガラスを薄くしたところにセラミックをコーティングしています。もちろん、この瓶はキリン専用だそうです。1ケースあたり2.6kg軽くなるので、私でも持ち上げられます。輸送コストも下がって、CO2の排出も減ります。「ビール飲むなら、びんビール！」缶より瓶がエコですね。(泰子)

ひろよしあつこ
広吉敦子の
市民が育てる
東京・未来

目黒・生活者ネットワーク

おひさまレポート

OHISAMA REPORT 2013. 4. 20 No. 83

発行責任者/今井真理 〒152-0003 目黒区碑文谷6-1-19 アネックスST 1階 TEL/FAX 03-3791-8069 http://meguro.seikatsusha.net

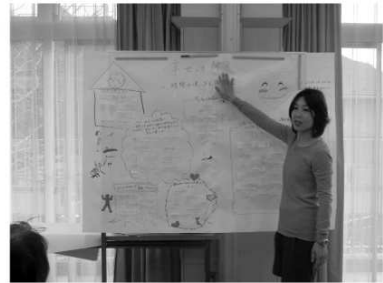
**NGOや教員研修、原発の被災地の子どもたちに
向けて行われている
「絵地図ワークショップ」を体験**

放射能問題など漠然と広がる社会不安がある中、社会問題への取り組みや人生のあり方などを考えるきっかけ作りとして、識字教育専門家で寓話作家の田島伸二さんによる「心の絵地図」ワークショップを企画しました。

「絵地図分析」…初めて聞く言葉に少しドキドキしながらこのワークショップは、まずグループでひとつのテーマを決めることからスタートします。それぞれが、いま気になることを話していき、私たちのグループは、お金について「幸せの家計簿 ～満足のいく使い方、使われ方～」というテーマに決まりました。

次に、テーマについて思うことを、一人ひとり話していきます。聞いている間はメモを取らずに聞くことに集中します。今度は、小さな紙に思うことを書いていきます。「〇〇が欲しい!!」から「税金の使い方」まで、お金に関する言葉がたくさん出てきました。出てきた言葉を、共通の内容ごとにまとめて模造紙に並べて線で囲い、グループを作ります。グループには短いキャプションをつけ、クレヨンやマジック、絵の具などで絵を描いたり色付けしたり、みんなでアイデアを出し合いながらの楽しい作業でした。

出来上がった地図を見渡して、何が一番大切か優先順位を決め、実行できるアクションプランを立てることで絵地図作りは終わります。主観的な個人の意見を整理して並べると、全体が客観的に見えてくるという不思議な体験でした。心が迷子になった時には、気になることや思い当たることを書きだし、絵地図作りから進むべき方向を見つけ出すことができそうです。



言葉では表現しきれないことを文字や絵、デザインなどで表現することで問題の解決や新しい目線作りにつながります。子どもたちに体験する機会を作っていきます。

心の絵地図ワークショップに参加して



谷口 久仁子



2月7日、識字教育を推進している寓話作家、田島伸二さんが提唱する絵地図分析のワークショップに参加しました。

グループ毎に決めたテーマ、私達の班は「幸せの家計簿、～良いお金の使い方、使われ方～」というタイトルで、お金にまつわる意見、希望等を各人が10枚以上の短冊に素直に書いて、それを税金、個人等の項目別にまとめ、カラフルな絵地図を完成させました。

お金について大勢でここまで深く考える機会がなかったので、様々な意見は学ぶことが多かったです。絵地図を作ることで文字だけでは見過ごしやすい事柄が発見でき、とても面白い体験でした。

最初は何をやるのか少し不安でしたが、やってみたら楽しくて、徐々に頭と脳をたっぶり使ったという感じです。

宮坂 恵子

「幸せになるために」を大きなテーマとして「お金」と「時間」の二つのグループができ、ご夫婦やお友達などは違うグループに分かれました。初対面とは思えない盛り上がりで出来上がった絵地図に一同、大満足！